

# 令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 人事課  
 担当名: 人事管理担当  
 内線: 2424

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
N40	「彩の国さいたま人づくり広域連合」負担金			一般会計	総務費	総務管理費	人事管理費	「彩の国さいたま人づくり広域連合」負担金	
事業期間	平成11年度～	根拠法令	地方自治法第291条の9 地方公務員法第39条			針路分野施策		SDGsゴール	4
								SDGsターゲット	4-4
<b>1 事業概要</b> 地域主権改革の推進に伴い、地方公共団体の役割と責任が増大し、職員の人材開発が重要となっている中で、職員の人材開発・交流・確保を目的として、県と県内全市町村が参画して設立した「彩の国さいたま人づくり広域連合」の運営費を負担する。  人事異動による職員の新陳代謝や研修の契約差金等による減額、財源更生による増額  ア 議会費・総務関係費 0千円 イ 給与費 △8,933千円 ウ 県職員研修費 △1,809千円 エ 施設運営費 1,809千円				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 ア 議会費・総務費関係 2,454千円 彩の国さいたま人づくり広域連合議会の開催、事務局運営経費等に関する経費 イ 給与費 103,901千円 → 94,968千円 広域連合職員の給与を支払うための経費 ウ 県職員研修費 36,962千円 → 35,153千円 県職員の研修に関する経費 エ 施設運営費 14,073千円 → 15,882千円 研修実施にかかる共通経費及び庁舎の維持管理に係る経費  (2) 事業計画 県職員研修の実施 ア 階層別基本研修 イ 階層別選択研修 ウ 講師養成研修 エ 特別研修  (3) 事業効果 ・職員一人ひとりの職務遂行能力の向上と意識改革の徹底 ・課題解決力及び実践能力の向上  (4) 補正予算の概要 ・給与費：人事異動による職員の新陳代謝による減額 ・県職員研修費：契約差金等による減額 ・施設運営費：財源更生による県負担金の増額					
<b>2 事業主体及び負担区分</b> 事業主体 彩の国さいたま人づくり広域連合 負担区分 県1/2、市町村1/2 (但し、県職員研修費は県10/10等、詳細は同連合規約第18条による)									
<b>3 地方財政措置の状況</b> 普通交付税(単位費用) (区分)包括算定経費(細目)総務費 (細節)人事管理費 (積算内容)職員研修・職員研修所の運営									
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 9,500千円×0.3人=2,850千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△8,933	財産収入						△8,933	148,457
現計額	157,390	4						157,386	

## 事業内訳書

事業名	「彩の国さいたま人づくり広域連合」負担金		
単位事業名	給与費	予算額	△ 8,933千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△8,933	—	
合計	△8,933	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△8,933	—	人事異動による職員の新陳代謝による減額
合計	△8,933	—	

単位事業名	県職員研修費	予算額	△ 1,809千円
-------	--------	-----	-----------

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△1,809	—	
合計	△1,809	—	

単位事業名	県職員研修費	予算額	△ 1,809千円
-------	--------	-----	-----------

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△1,809	—	契約差金等による減額
合計	△1,809	—	

単位事業名	施設運営費	予算額	1,809千円
-------	-------	-----	---------

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	1,809	—	
合計	1,809	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	1,809	—	財源更生による県負担金の増額
合計	1,809	—	